

今月の相談事例（8月号）

顧問先社長 経営幹部各位

〒428-0004 静岡県島田市横岡 640-2
三浦労務経営事務所
社会保険労務士 三浦 茂
TEL 0547-45-5811/FAX 0547-45-5821
URL <http://masterslink.jp/sr/miura/>

【相談】

今年4月に入社した子が辞めると言ってきました。会社にも慣れ、仕事の仕方を身に着けさせよようと、まずいところを直すよう指導したところ、切れてしまったようです。
今の若い子は、皆こんな感じなののでしょうか。

【アドバイス】

世間には今の若者は我慢がないとか、夢がないとかいろいろ言われていますが実際はどうなののでしょうか。最近の若者については次のように言われています。

- ・自分のしたいことをはっきり言えない。
- ・1年先が遠い将来のようで、目的目標をもって日々を送れない。
- ・向上心に欠けるようで、改善点を指摘すると心的ダメージが大きい。
- ・親や友人と人生観や社会観を交わさないためか、信念が希薄。
- ・とにかく気が利かない。言ったことも満足にできない。言うとき萎える。
- ・彼女（氏）、家、車・・・といった夢や願望がない。
- ・今日明日が平穏無事であれば良い。

そして若者の指導に当たっている方の多くが困惑されていると伺います。

それでは、当事務所に今年入社した者を若者代表として若者の胸の内を話してもらいます。

様々言われていますが、若者の仕事に対する姿勢や考え方に問題があることを感じています。自分が心の底からやりたいと思っている仕事をしている人は少ないようです。また、与えられた仕事であっても、その仕事に楽しさややりがいを見つけることができないようです。経験のない未知の仕事も全力で挑戦していれば道が開けてくるものですが、その壁を乗り越えるまでやり通すことのできる人が少ないようです。

一方、時代の流れにも要因があるように思われます。近年は情報社会と言われていて、どこにいても情報を得ることが簡単に出来るようになりました。そのため、自分で考えることはせずに他人の意見をネット上で検索することによって足りたとしているようです。自分で考えるという能力がどんどん劣化してきています。

若者は壁を自らの努力で乗り越える経験を積んでいません。情報を自らの努力で収集し、整理し、分析し、有益な情報を人に提供することの価値を理解していないようです。このようなことが積極的な若者を輩出できないのではないのでしょうか。逆に失敗や批判を恐れて、表面的な会話で付和雷同する暮らし向きになっていると思います。

したがって、指導し、仕事を任せていくという視点ではなく、仕事を通じて様々な経験を積み上げていくという視点が良いのではと考えます。

（この著作権は三浦労務経営事務所に帰属する）